



1

第42回卒業式 139名が巣立ちました

■3月11日(金)、第42回卒業式が行われました。139名の卒業生は、1学年の2月末から新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全国一斉臨時休業をはじめ、コロナ禍の中で様々な教育活動が制限された卒業までの2年間でした。

■そのような中でも、「Team 太宰府」の一員として、そしてリーダーとして「自分たちにできることは何か」「Team 太宰府を笑顔にするためには何かできるか」をしっかり考え、実行してくれました。心から感謝しています。

■これからも予測困難なことが起きるであろう社会を、「太宰府人(だざいふびと)」として笑顔で進んでくれることを期待しています。

■そこで今回は、生徒会長でもあったSさんの卒業生代表としての「答辞」をご紹介します。紙面の都合で一部掲載できていないことをお断りします。素晴らしい答辞でした。



【答辞】

春、桜の絨毯が彩る、正門から続く坂道。夏、風にゆられ、青々と生い茂る、校庭の楠の木。秋、日に透いて輝く、銀杏の葉。冬、ほんのりと赤く色づく、梅の花。

■三度目の春、私たちは卒業します。感染症拡大の中、このような心温まる卒業式を挙げていただき、卒業生一同、心より感謝申し上げます。

(中略)

■仲間づくりの二年生。休校から始まり、何か月も友達と会えない日々が続きました。しかし、この期間があったからこそ、友達と勉強できることや笑い合えることの大切さを実感することができました。感染症の影響は修学旅行にも及び、度重なる延期や場所の変更がありました。不安も大きかったけれど、決して後ろを向くことなく、通算二十回以上のリーダー会を重ね、準備を重ね、やっと行くことができた阿蘇とグリーンランド。草千里での「未成年の主張」では、親友や魚、都会への熱情を語った少年たちのおかげで、学年全体が笑いに包まれ、一生忘れることのない共通の思い出を作ることができました。家族のような仲間と、頂点に挑戦し、今までの自分を超越する修学旅行を創り上げることができました。コロナ禍にも関わらず、このようなかけがえない経験ができたことに心から感謝しています。

■そして、夢づくりの三年生。無観客や延期、半日開催等、想像以上の困難が押し寄せた体育祭。しかし、そのような中でも、リレーでバトンをつないだこと、マスクの中で全力の応援をしたこと、make you happy を踊ったこと。練習も含め、一瞬一瞬が輝く、青春の一ページを飾ることができました。

■「想う言葉はありがとう」、「碧空への熱情」、「心ひらいて歩いていきたい」、「君と僕に光を残して」どの学級も歌詞に精一杯の想いを込めた文化祭。感染対策をしながらの練習は容易なものではなかったけれど、一回一回の練習を大切に、どのクラスも絆を強めることができ、当日は納得のいく合唱を披露することができました。「Let it be」、どんなに困難な状況であっても、それを受け入れ、顔を上げれば、希望の光が見えてくるということ、隣を見れば、支えてくれる仲間がいるということに気づくことができました。

■在校生の皆さん。学校行事や部活動など、共に笑い、共に泣いてくれてありがとう。こんな私たちにも敬語を使ってくれたこと、こんな私たちに一生懸命支えてくれたこと。本当に嬉しかったです。中学校生活は楽しいことばかりではありません。苦しいことや乗り越えなければならぬこともあります。しかし、卒業する時にはどんなことも良い思い出に変わっています。だからこそ、学校生活の一瞬一瞬を大切に過ごしてください。

■先生方。三年間、家族のような学年という目標に向かって、いつも私たちのことを思い、愛情を注いでくださいましたね。私たちの小さな悩みにも真剣に寄り添い、優しく言葉をかけてくださったこと、元気に満ち溢れた授業をしてくださったこと、どんなことも共に取り組み、共に楽しみ、私たちの笑顔を引き出してくださったこと、真実の愛をもって叱ってくださったこと。未熟だった私たちが成長することができたのは先生方のおかげです。先生方から教えていただいた「言葉の大切さ」を忘れずに、これからの人生、それぞれの道で成長していきます。

■そして、いつも一番近くで支えてくれた家族。仕事に疲れて起きるのが辛いのに、毎日朝早くからお弁当を作ってくれたり、忙しい中も私たちの進路を一緒に考えてくれたりいつも私たちに応援してくれました。それなのに家では反抗して喧嘩して迷惑ばかりかけていました。いつもは素直になれないけれど、本当は、言葉では言い表せないほどに感謝しています。産んでくれてありがとう。育ててくれて、ありがとう。この家族に生まれることができたこと、本当に幸せに思っています。まだまだ心配をかけることもあると思いますが、これからもよろしく願います。

■最後に、三年生のみんな。いつも笑顔でいてくれてありがとう。この学年を明るくしてくれてありがとう。部活動で喧嘩したり、少人数教室で一緒に怒られたり、夜遅くまで一緒にテスト勉強をしたり。下を向いた日も、上を向いた日もありましたが、そのたびに成長でき、家族に近づくことができました。あともう少しだけいいから一緒に笑い合いたかった、一緒に勉強したかった。本当に離れるのがさみしいです。しかし、高校生になっても、社会人になっても、いつまでも私たちは家族です。これほど絆の強い学年をつくってくれたみんな。最後にもう一度だけこの言葉を贈ります。みんな、本当にありがとう。

■この太宰府中学校で、たくさんの愛のもと、充実した三年間を過ごすことができました。そんな太宰府中学校ともお別れをし、新しい道へ歩み出すときが来ました。これからは、私たちが恩を返す番です。苦しい事や辛い事もあると思いますが、そんなときには空を見上げ、ここで出逢った家族のような仲間のことを思い出し、強く前へ歩みを進めていきたいと思っています。この先に出会うどんな人にもプラスな言葉をかけ、ここで過ごした三年間のような輝かしい未来をつくることを誓い、答辞とさせていただきます。

令和4年3月11日 卒業生代表

2 生徒総会が行われました

■2月25日(金)、令和4年度の生徒会活動方針を決める、生徒総会が行われました。例年でしたら、全校生徒が体育館に集まり、対面の形で行われるのですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度は、オンラインで実施されました。

■慣れない方法での開催になりましたが、役員のみなさんは、昨年10月から練り上げてきた活動方針や年間計画を、プレゼンテーションを駆使しながらわかりやすく説明しました。それらの説明を、生徒は各学級のモニターで視聴し、質疑応答なども画面を通して行われました。議決の方法も、学級の賛否を学級委員が集約し、画面越しに「可決」「否決」の用紙を掲げる形をとりました。

■前日にしっかりとリハーサルを行っていたこともあり、当日はスムーズに進行することができ、無事、令和4年度の各専門委員会活動方針は可決されました。



令和4年度太宰府中学校生徒会スローガンは「飛翔～雲の上はいつも晴れ～」です。このスローガンには、「何事も失敗を恐れず積極的に挑戦しよう。失敗を乗り越えた先には、きっと最高の学校をつくることができる」という意味が込められています。これからまた新たな太宰府中学校を作っていく生徒会の取り組みに大いに期待しています。

■以下、議長を務めた2人から感想をい

いただきました。



*Oさん(2年生)

■生徒総会に向けて執行部や委員長はたくさん準備してきたので、その努力に応えられるよう頑張りました。生徒会活動についていつもより深く考えることができ、とても貴重な体験になりました。



*Tさん(2年生)

■初めての進行で緊張したけど、やってみるといつも通りの感じで進行することができました。生徒総会という学校全体場で進行して、自分に自信がついたので、とてもよい経験になりました。

3 ふるさと夢プロジェクト②

■昨年、11月29日(月)に行われた太宰府市・多賀城市「ふるさと・夢プロジェクト」第1回交流会に引き続き、第2回交流会が、3月16日(水)に行われました。

第1回は、市内四中学校合同で、市役所で行われましたが、第2回は、それぞれの市から1校ずつペアを作り、個別に交流を行いました。

■太宰府中学校は、多賀城市立多賀城中学校との交流を行いました。今回も、オンラインでの交流となりましたが、それぞれの学校の生徒会役員が代表で参加し、各学校から学校紹介やこれから計画している生徒会の取り組みなどを紹介しました。その後、それぞれの学校へ互いに質問しあうなどして交流を深めていきました。

■交流会の最後に、本校の校長先生から、「宮城県と福岡県では遠く離れていますが、お互いの取り組みの中で一緒にできそうなこと、取り入れたいことなどがあつたと思います。今日の交流を機に、それぞれの中学校のよいところを参考に、更に学校・地域を元気にしてほしいです。」との言葉をいただきました。これからも続いていく2校の交流が楽しみです。(3月16日深夜に発生した東北地方の地震では宮城県も大きな被害があつたと聞いています。心からお見舞い申し上げます)



■令和3年度の太宰府中学校の教育活動も終了を迎えます。昨年度に引き続き、コロナ禍により学校行事を含む多くの教育活動で内容や方法の変更や中止等を余儀なくされました。そのような中でも、スポーツフェスタや文化祭、オンライン授業等できる範囲の中で最大限の取り組みができたことは大きな前進と受け止めております。これも、生徒の皆さんはもとより保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力なしでは実現することはできませんでした。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

太宰府市立太宰府中学校 校長
// 学校運営協議会 会長
// 父母教師会 会長